

花々に心癒やされ

6月4日に健康づくり委員会主催の春のハイキングがあり、六甲高山植物園、オルゴールミュージアムへ行き、38人が参加しました。

新緑の六甲へハイキング

6月4日に、緑深まる初夏の道をバスに乗って、六甲に行ってきた。瀬戸内海国立公園に指定され、日本三百名山でもありま



「日光黄薔」がお出迎え

す。植物園に入ると、目の覚めるような「日光黄薔」が出迎えてくれました。

花の多い時期にあたるため、色とりどりの花が咲き乱れ、甘いにおいを漂わせる「はまなす」の下にひっそりと咲く「一人静」や「深山オダマキ」等眺めて食べる弁当は格別でした。

オルゴールミュージアムへ徒歩で移動。オルゴールコンサートを聴きました。時間の余裕もあり、オルゴール館の小さな池の周囲を散策していると鶯の鳴き声が聞こえてきます。「まだこどもやな」と話しながら。「今日は身も心も癒された一日だった。1カ所です。鳥、花、音楽など楽しめる場所ってそんなにないものね」との感想もありました。(大門 知子)

辺野古レポート

13年間毎日闘い続ける人々

6月5日午前9時、名護市辺野古周辺は気候も良く、穏やかな空気に包まれていました。米軍基地、キャンプ・シユワブの物々しい警備を除けば。

普天間基地の代替で、新基地が建設されようとしている。ここには、計画開始の2004年以来、13年間ずっと闘い続けている人々があります。この日も県内外か

ら40人ほどが集まり、座り込みを行っていました。

この行動により1日に入る工事車両の数は制限され、工事は確実に遅れています。その間に沖縄は住民の代表たる県知事、市長、市議会すべてを、基地反対派が占めるようになりまし

た。これは大きな意味のある、時間稼ぎなのです。数日前には、機動隊に押

されて頭を強打し、今もICUに入っている参加者もいます。それでも彼らは毎日座り込みを続け、基地の建設を阻止しています。

(組織健診課 阪口 和人)



座り込みテントの前に表示された日数

地域の現場から

「往診・訪問看護・訪問介護」を受けていて

広がっています

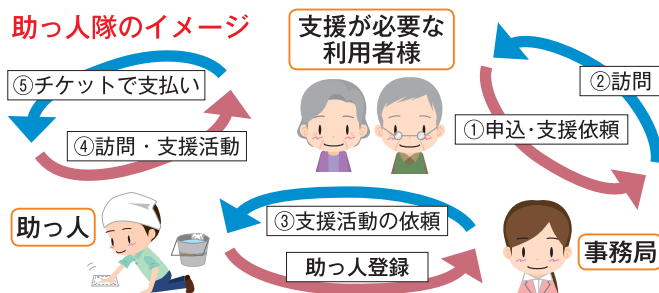
「ワンコイン助っ人隊」

(健康友の会みはら会員同士の助け合い)

も、高齢者が安心して在宅で暮らせる実態があります。度重なる介護保険の改悪、さらに要介護1・2の方でも、家事支援が介護保険から外されようとしています。そんな中、健康友の会みはらはでは、在宅で安心して暮らせるよう、会員同士の支え合いとして2014年7月に「ワンコイン助っ人隊」をスタートさせました。現在では月に80回を超える依頼がある

り、助っ人が支援に入っています。主な支援内容は、介護保険では対応してもらえない2階の掃除や高い所の掃除、退院時の部屋の片づけ、通院時の付き添い、入院中の洗

い。退職して少し時間ができた方、ぜひ助っ人登録して助け合いに参加してください。



【お問い合わせ先】
●TEL 072-280-5887
NPO法人ともうず
または
●TEL 072-244-8061
健康友の会事務局
大坪迄

原水爆禁止世界大会の カンパのお願い!

今年は8月6～9日に長崎で行われます。参加に向けて、毎年7月にカンパと平和バザーに取り組んでいます。

贈答品、日用品などございましたら、7月21日までに新本部3階友の会事務局までお持ちください。ぜひご協力ください。新品に限らせていただきます。(詳細は事務局まで)

平和バザー 開催!

日程 7月25日(火) 9時～12時

場所 高砂クリニック前

☆売り上げは、参加者の参加費用に使わせて頂きます。

連絡先 健康友の会みはら事務局 072-244-8061

中野 良子



私は戦後生まれですが、私の戦争体験⑧「大空襲の夜」を身近に思いながら拝読いたしました。私の実家は南海高野線・堺東駅の裏。庭の裏は反正天皇陵でした。方違神社へも子どもの頃よく行くことがありました。我が家の周辺は燃えていきましたが、亡き母の話として「空襲で土居川にはたくさんの犠牲者が浮かんでいた」と聞かれました。

子どもの日
南区美木多上
山戸 直子(63歳)
子どもの日は孫3人と娘、夫と動物園、公園と過ごしました。楽しいですが疲れます。来年も元気で過ごせたらと思う今日この頃です。
新芽が出る頃です。体調に気をつけてくださいませ。
亡き母の話
吹田市
小西 和(68歳)
私は戦後生まれですが、私の戦争体験⑧「大空襲の夜」を身近に思いながら拝読いたしました。私の実家は南海高野線・堺東駅の裏。庭の裏は反正天皇陵でした。方違神社へも子どもの頃よく行くことがありました。我が家の周辺は燃えていきましたが、亡き母の話として「空襲で土居川にはたくさんの犠牲者が浮かんでいた」と聞かれました。



考えさせられる

西区草部

倉崎 和美(70歳)

私の戦争体験は毎号知らない世代として興味だけでなく、今後の日本をどう導いて下さるのか？政治家の皆様方の憲法改正と合わせて考えさせられます。

健康が第一

堺区緑ヶ丘北町

矢谷 昌雄(80歳)

耳原総合病院ではお世話になってます。みみはら・ともが楽しみです。『元気が一番で健康が第一です』。感謝の心です。身体健全でグラウンドゴルフを楽しんでいます。

水木 志津子



いつも娘と

富田林市

加納 亜紀(32歳)

いつも娘とクイズを楽しんで取り組んでいます。

「とも」を読んで

南区高倉台

道家 俊子(67歳)

「とも」を読んでいると世界の平和を願い、地域に根差した質の高い医療を目指している事がよく分かります。